

Title	教育の情報化における課題解決のための枠組みづくりの実践： デジタル教科書教材協議会(DiTT)を事例として
Sub Title	Practice of new frame-making for problem solving in the digitization of education : The DiTT as a case
Author	永田, 晃(Nagata, Hikaru) 中村, 伊知哉(Nakamura, Ichiya)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>近年、日本の社会を取り巻く環境は大きく変化している。それに伴い、社会で生きていく様々な能力にも変化が起こっている。こうした社会の変化によって、これからの社会で生きる力を育む学校教育にも新しい教育カリキュラムや新しい教育手法が求められ、教育の情報化の普及への期待度が高まってきている。</p> <p>本研究は、これからの社会に求められる力の育成に向けて教育の情報化の整備の促進を日本の学校現場にいかに関与させ、改革していくかという現状の学校教育の在り方へ問題提起を投げかけ、デジタル教科書教材協議会 (Digital Textbook and Teaching: 以下、DiTT と表記) において私が行った普及啓発活動や政策提言の教育改革効果を検証するアクションリサーチ型論文である。</p> <p>この研究を通じて、これからの社会に求められる力の育成することと教育の情報化の整備を促進することには、民間協議団体を組織し教育改革を推進する枠組みを作成することが有効に機能することが示された。</p>
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第186号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0186

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2011年度（平成23年度）

教育の情報化における課題解決のための枠組みづくりの実践

-デジタル教科書教材協議会（DiTT）を事例として-



KEIO MEDIA DESIGN

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

永田 晃

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士（メディアデザイン学）授与の要件として提出した修士論文である。

永田 晃

指導教員：

中村 伊知哉 教授 (主指導教員)

大川 恵子 教授 (副指導教員)

審査委員：

中村 伊知哉 教授 (主査)

大川 恵子 教授 (副査)

岸 博幸 教授 (副査)

修士論文 2011年度（平成23年度）

教育の情報化における課題解決のための枠組みづくりの実践

-デジタル教科書教材協議会（DiTT）を事例として-

要旨

近年、日本の社会を取り巻く環境は大きく変化している。それに伴い、社会で生きていく様々な能力にも変化が起こっている。こうした社会の変化によって、これからの社会で生きる力を育む学校教育にも新しい教育カリキュラムや新しい教育手法が求められ、教育の情報化の普及への期待度が高まってきている。

本研究は、これからの社会に求められる力の育成に向けて教育の情報化の整備の促進を日本の学校現場にいかに関与させ、改革していくかという現状の学校教育の在り方へ問題提起を投げかけ、デジタル教科書教材協議会（Digital Textbook and Teaching：以下、DiTTと表記）において私が行った普及啓発活動や政策提言の教育改革効果を検証するアクションリサーチ型論文である。

この研究を通じて、これからの社会に求められる力の育成することと教育の情報化の整備を促進することには、民間協議団体を組織し教育改革を推進する枠組みを作成することが有効に機能することが示された。

キーワード

教育の情報化、デジタル教科書、デジタル教科書教材協議会、DiTT、改革推進

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

永田 晃

Abstract of Master's Thesis Academic Year 2011

Practice of New Frame-making for Problem Solving in the Digitization of Education - The DiTT as a Case -

Summary

These days, Japanese society seems to be deteriorating and spoiled sooner or later. It was caused by changes in the environment. That will change the way we study ourselves. Therefore, the democratization of education through digital information technologies has become an important factor and improvement in the future of education.

However, the digitization of education in Japanese school is lagging behind this speed of change. I hope to support and contribute to this quantum change and prepare a digital environment that is conducive for learning and education.

This thesis was written by the type of the action research, it is depend on DiTT (:Digital Textbook and Teaching) project of public relations Digitization of Education.

Key Word

Digital textbook, Digitization of Education, DiTT, Public relations,

Keio University Graduate School of Media Design

Hikaru Nagata